

事業所名

放課後等デイサービス すてっぴ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

25 日

法人（事業所）理念		「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追求」「共に生きる社会づくり」					
支援方針		ご利用児童、ご利用者、ご家族が可能な限り、その地域における生活が継続できることを念頭に置き、視覚支援、創作活動等の支援をとおし、日常生活における基本的動作の習得や集団生活における適応力向上を目指します。					
営業時間		10 時	00 分	19 時	00 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康で文化的な生活を維持し、リズムとON/OFF、豊かな生活を具体的に描くことができるよう図ります。一宮ならではの自然との調和のある立地、もともとカフェだったウッドイナ建物と、いろんなことができそうな庭。そのような環境で、ゆったりも、のびのびも、がんばるも自ら選べる自由な雰囲気。場面の切り替え、生活のメリハリをつけて、放課後・長期休みの時間を過ごせるよう図ります。（下校時刻にお迎えにあがり、それからここでお過ごしいただきます。夕刻にはご自宅等へお送りします。）					
	運動・感覚	PTなどの指導の下、自分の体の状態をよく知り、よりよいイメージをもって動かすことができるよう図ります。小さな動作・大きな動きを取り入れて、より効率的なスムーズな運動・身体操作ができることを目指します。（庭でのかけっこ・鬼ごっこ・かくれんぼ。近所の寺社仏閣や公園などでの散歩。いろいろな遊び・アクティビティを通して、からだを動かす機会を作ります。）					
	認知・行動	自らの認知機能と感覚の特性とを自覚し、TPOに応じた行動ができることを目指します。とともに、周りへの理解を促し、環境へ働きかけます。（学習支援。公文式の採用とご希望の利用者さまへの提供。SST ソーシャル・スキル・トレーニング。ルールのある遊び。知育・療育的なゲーム…。「やりたい!」ことを大事にします。「多機能型支援事業所だからできる、異世代との交流や参加。）」					
	言語コミュニケーション	言語的・非言語的なコミュニケーションが成立することを期待して、ひとりひとりの利用者さまに働きかけを行います。（ST 言語聴覚士による専門的支援。SST。学習支援。個別課題。静と動 机上課題と運動との切り替え。）					
	人間関係社会性	深く広い洞察をもって互いに関わり合うことができるよう図ります。自分以外の人に対する理解と許容とをもって、多人数の中で生きてゆくことを知ることができるように。小さな社会から知り、体験するところから、大きな社会へ出てゆくことを臆せずできるようになることを目指します。（SST。買い物支援。公共施設・公共交通機関の利用。社会科見学。）					
家族支援		ご相談、承ります。（家庭訪問。延長支援・預かり支援。レスパイトの計画・実施。保護者さまへの助言・提案。）			移行支援	地域・地域の社会とともにあり、障害者福祉に対する理解と協力を深めるとともに、広い社会に旅立ってゆく利用者さまの背中を押す支援を行います。（地域資源との一体的な交流・参加。）	
地域支援・地域連携		関係機関各所と協働・相談できる関係を築き、相互に理解を深めてゆくことを図ります。（担当者会。引き継ぎ担当者会。学校等訪問。）			職員の質の向上	全ての職員に対して、研修・教育の機会を与え、常に向上心とプロ意識とをもって職務に当たることができるよう事業所として努力を継続します。（研修・講習会。資格試験の推奨。上級資格の取得推進。）	
主な行事等		調理実習、季節の遊び、畑仕事、近隣の施設・名所旧跡の利用（図書館、旧関川家住宅、土佐神社・しなねさま、善楽寺、国分寺、歴史民俗博物館、岡豊城址公園、弥右衛門公園、県立美術館、埋蔵文化財センター…）、外食、買い物、散歩、遠足、ドライブ、工場見学、などなど。					